

オープンキャンパス土木学会2025 開催報告

土木広報センター 土木の魅力グループ
塚田 千広（東電設計（株）・土木本部技術開発部）

オープンキャンパス土木学会について

7月26日（土）、本年度も土木会館（東京都新宿区四谷）内にて、「オープンキャンパス土木学会2025」が開催された。このイベントは、毎年7月の第3土曜日に土木学会の館内を一般開放し、学会の専門委員会や関係団体が提供する多彩な体験型プログラムを通じて、地域の方々や学会関係者およびその家族に「土木」への関心と理解を深めていただくことを目的に開催している。主催は土木の魅力グループで、2018年度に第1回を開催して以降、今年で6回目の開催となる。

開催概要と本年度の開催結果

イベントで体験できるプログラムは表1の通り。コンクリートを練つてアクリセ

サリーを作つたり（写真1）、橋梁やトンネルといった土木構造物がどのように支えているのかを模型を用いて理解したり、土砂崩れの原理を模型による実演で学ぶなど、多岐にわたる。

また、近年注目されている情報化施工に関連する、ロボットプログラミングや三次元測量も体験できるコンテンツが実施された。他にも、防災に関するコンテンツとして、まちがい探しや「ごろく、カードゲーム」として、防災に対する意識を身につけられるコンテンツもあり、「土木」という分野の幅広さを実感できるようなイベントであった。

本年度の来場者は314人であった。

前年度比90%とやや減少したものの、初回時の203人と比べると1・5倍に達し、経年的には増加傾向にある。例年、開催時期が夏ということもあり厳しい暑

さの中での開催となつてはいる。その中で多彩な体験型プログラムを通じて、地域の方々や学会関係者およびその家族に「土木」への関心と理解を深めていただくことを目的に開催している。主催は土木の魅力グループで、2018年度に第1回を開催して以降、今年で6回目の開催となる。

参加者の多くは、近隣の小学校の生徒やその保護者の方であり、親子で各イベントを体験している様子がうかがえた。また、過去にもオープンキャンパスに来場したことのある、本イベントの「リ

ーザー」も多く、過去のイベントからあり、来場者がやや減少したと考えられる。しかしながら、熱中症対策を実施したこともあり、体調不良等は発生しておらず、来場者・関係者の高い予防意識を感じることができた。

運営には、土木広報センターの他、市民交流活動の実績がある専門委員会が、毎年参加・協力してくれている。本年度は九つの専門委員会・グループと二つの大学研究グループから、スタッフ総勢約100人が集まつた（写真2）。本イベントの運営を通じて、分野を超えたスタッフ同士の交流もあり、自身の専門分野だけでなく、他の専門分野の理解も深まる

表1 本年度の専門委員会・グループによる提供プログラム

専門委員会・グループ	提供する体験型プログラム
建設用ロボット委員会	・ラジコンバッケホウでスーパーボールすくい
構造工学委員会	・アーチ橋模型～大きなつみきでアーチを作ろう！～ ・振動模型～どれがいちばんゆれるかな？～ ・ボールたて～ストローでボールを支えよう～ ・杭の免震構造～免振装置を揺らしてみよう～ ・アーチ模型～大きなつみきでアーチを作ろう～
コンサルタント委員会	・どぼくカルタでお勉強 ・ソーラーホッパーレース ・液状化実験～えきじょうかの仕組みは？～ ・水質調査～水と一緒に旅してみよう！～ ・どぼくオリジナル缶バッジづくり
地盤工学委員会	・水で斜面を動かす実験～雨が降るとどうして斜面が崩れるか？～ ・ナットでがけ崩れ実験
土木情報学委員会	・土工ってなんだ？～プログラミングでロボットを動かそう～ ・橋ってなんだ？～ダヴィンチの橋を作つてみよう～ ・測量ってなんだ？～スマホで3Dスキャンしてみよう～
トンネル工学委員会	・トンネル実験～つよいトンネルの形は？～
法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科	・コンクリートでアクセサリー ・電磁波レーダーで宝探し
土木の日事業グループ [※]	・ドボコレトレイン
若手パワーアップグループ [※]	・ポケドボカードで防災を知ろう
土木の魅力グループ [※]	・かんたん！手づくり防災～私には守るものがある～ ・たのしくまなぼう防災ゲーム

※は土木広報センター所属の専門グループ

相乗効果も期待される。

土木を通じた コミュニケーション



写真1 コンクリートでアクセサリー

オープンキャンパスで体験できるプログラムの多くは、土木に関して知ることができるものだけでなく、各コンテンツの土木技術者とのコミュニケーションをとることができる。



写真2 ご協力いただいたスタッフの皆さん

来場者視点では、日頃使っているインフラ設備の技術者とのコミュニケーションにより、土木が社会のどういったところで使われているかを知る機会になる。土木の魅力を知ることで、将来、土木業界を考えることにつながる。



写真3 トンネル実験～つよいトンネルの形は？～

本イベントは日頃知ることのできない、「土木の裏側」を実際に目で見て、手で触ることで理解できるものである。その中で、さまざまなコンテンツを通じて、土木技術者と関わることで、広く深く知つてもらうことができる。これからも、こういった社会との交流するイベントを続けることを願っている。

ドボラジ
中央エフエム
84.0MHz

毎週水曜20時は…ドボクのラジオ !!

ドボラジ
中央エフエム | 水曜20時(再放送:日曜12時)

一方で、運営視点では、日頃の業務等で関わることのない方とのコミュニケーションを通して、自分たちが気づかなかつた視点からの土木の魅力であつたり、専門分野へのより深い理解へとつながっている。

トを通して、土木の魅力を広く伝えていきたい。

第1回のイベントから、7年がたち當時小学生であつた参加者の進路選択に、土木分野が入つてくる年代となつた。数年後、本イベントの運営に「オープンキャンパスで土木を志した」技術者もいるかもしれない。このような人と人のつながりを知ることのできるイベントに土木技術者の方々に参加いただきたい。

オープンキャンパスの運営を通じて、自身の専門以外の土木技術者や一般の方々との交流が生まれ、土木の魅力が生まれ、新たな「土木の魅力」を知る機会となることを願つている。